

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	HIYOKO MUSIC新田教室			
○保護者評価実施期間	2026年 4月 14日		～	2026年 4月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32人	(回答者数)	9人
○従業者評価実施期間	2026年 4月 14日		～	2026年 4月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数)	6人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 5月 28日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者との安定した関係性の構築	保護者にお子様の成長を具体的にイメージしていただけるよう、日々の活動での様子や本人の状態、他社と関わり等を細かく伝えることを意識して取り組んだ。 また、保護者からの相談等には様々な形で迅速に対応し寄り添う姿勢を大切にしたい。	日々の保護者への申し送りを丁寧に行い、家庭や学校での様子、事業所での様子を共有することで共通理解を持ち一貫した支援を行えるように努める。 保護者からの相談や申し入れに対して今後も迅速かつ適切に対応を行う。
2	季節に合ったプログラムを取り入れ、季節感を取り入れた支援の提供	毎月のプログラムを、その月のイベントや季節に合った内容にすることで、楽しみながら季節感を意識し、取り組むことができるような活動プログラムの立案を意識した。	プログラム作成の際は季節や四季を感じられる内容にし、積極的に活動に取り入れていく。 音楽療育の特徴を活かしながら季節の歌や絵描き歌の題材等を積極的に取り入れていく。
3	季節に合わせた、イベントの実施や外活動の実施	季節ごとに行事を行ってきた。（夏祭り、ハロウィン、クリスマス）イベントの日には子どもたちにも日々の活動に加えて取り入れることでプログラムへの意欲も見られていました。また、イベント後はご好評の声をご家族、ご本人からも頂いています。	イベントの回数を前年度よりも増やすことができるよう職員一同努めて参ります。加えて、外活動を行う際には積極的に近隣、地域の公園等を利用し地域住民との交流の場を持っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎時の人員の不足	職員の固定化は出来てきてはいるが、利用者に対して送迎を行う際の職員が足りていない。	現在も行っている、近隣の姉妹園への送迎要請を継続しつつ、お子様を安全安心に送り届けることができるようドライバーの育成を行う。
2	音楽療育のプログラム内容の固定化、マンネリ化	毎月、プログラムの歌やサーキットの内容は変えているが子どもたちの中には1ヶ月の中で流れを知り、飽きが出てきてしまう事もある。 全年代に合わせたプログラム作成を意識しているが、年代によってレベルを合わせることが難しい場合もある。	プログラム立案の際は職員からの案を積極的に取り入れ、1ヶ月のプログラムに楽しんで参加してもらえるように工夫していく。一週間で替えられるものや椅子や運動器具の軽度な配置替え等、新鮮味を感じてもらえるよう設定していく。
3	地域の公園で外活動を行うことはあるが、地域の学校、児童館等との交流が出来ていない	外活動を通して地域の公園などでは定期的に活動を行い地域住民とかかわることはあるが、学校や児童館等との交流を行う機会を設けることができていない。 送迎時以外、近隣の小学校とのかかわりを持つことができていない。	地域のイベントなどがある際は活動の一貫として参加できるように地域の情報を収集する 学校や、児童館等との交流ができるイベントなどを検討する 近隣学校、保育園、幼稚園への挨拶回りを行うことで認知してもらい連携の強化を図る